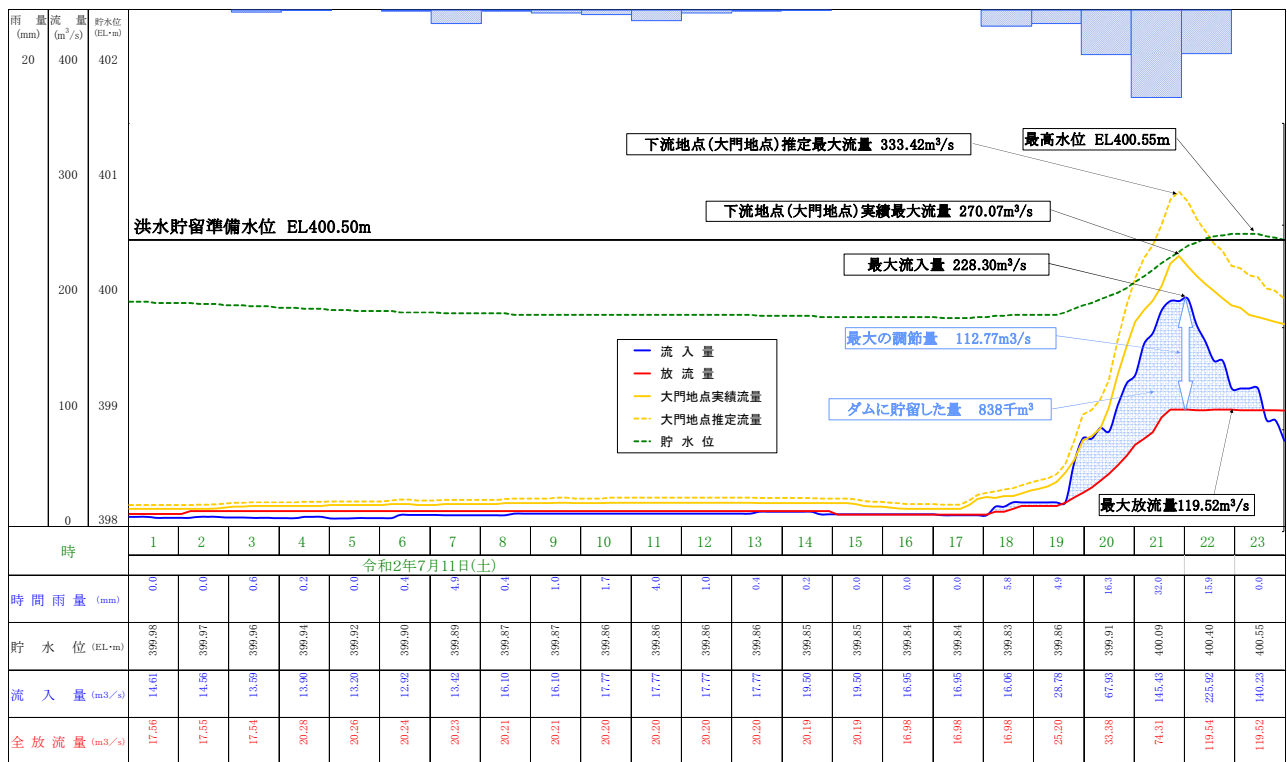


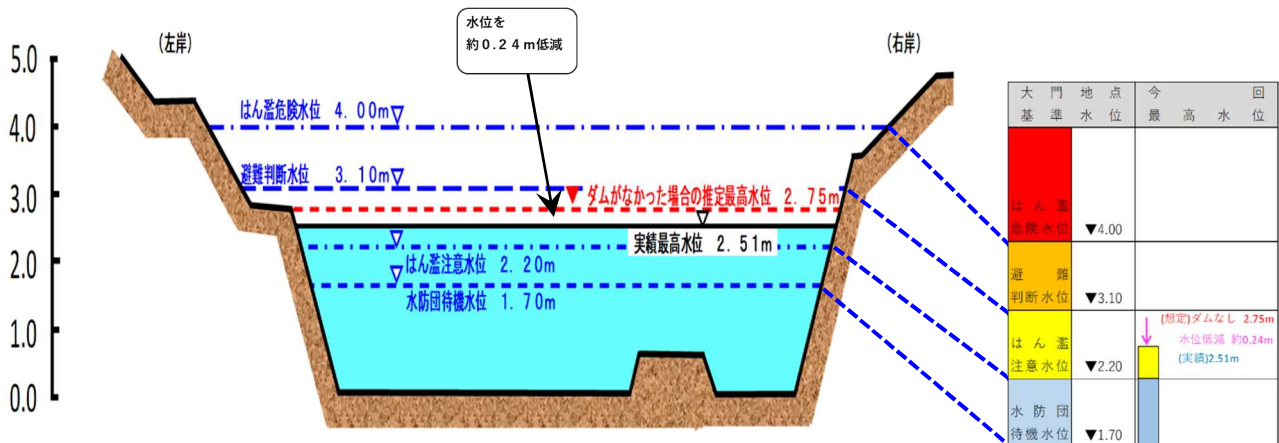
7月11日の降雨による阿木川ダム防災操作

- 活発化した梅雨前線の影響により阿木川ダム流域で降雨（降り始めから約 91 mm）があり、毎秒約 228m³の流入を記録しました。
- 阿木川ダムではダムに流れ込む水の一部を貯める防災操作を実施し、約 838 千 m³（名古屋ドーム約 0.7 杯分に相当する水量）の水をダムに貯留しました。この操作により、ダム下流の^{だいもん}大門地点（恵那市東野字下屋下）の河川水位は、ダムがない場合と比べ最大約 24 cm低減したものと推定しています。

阿木川ダム防災操作状況図



下流地点（大門地点 阿木川ダム下流約 2.5km）の水位低減効果



※「ダムが無いと仮定した場合の水位」は、当該時刻のダム地点の貯留量をダム下流の阿木川大門地点の水位低減量に換算して推定しています。

※各水位による警戒レベル、警戒レベル 3、4 における避難勧告相当等の記載は、避難勧告等に関するガイドラインを参考